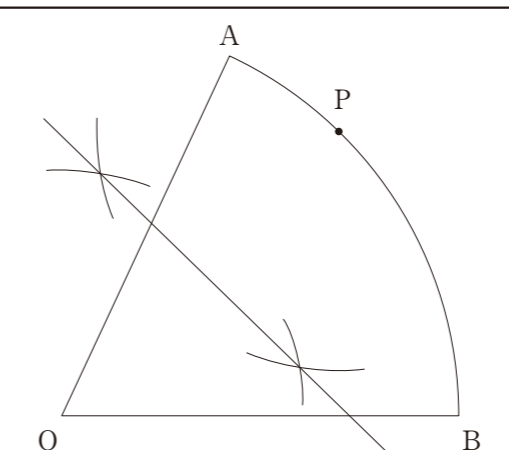


問題	正 答	配 点	採点上の注意
1	(1) $-6xy$	4	65
	(2) 2	4	
	(3) $4x^2$	4	
	(4) $x=4$	4	
	(5) $\sqrt{5}$	4	
	(6) $(x-4)(x+7)$	4	
	(7) $x=-2, y=3$	4	
	(8) $x = \frac{5 \pm \sqrt{21}}{2}$	4	
	(9) 165 (度)	4	
	(10) 0.45	4	
	(11) 100 (度)	4	
	(12) ウ	4	
	(13) 4 (組)	4	
	(14) $\frac{1}{12} \leq a \leq \frac{5}{4}$	4	
	(15) (あと) 7 (回)	4	
(16) (説明) (例) 14 m以上飛んだ飛行回数は、紙飛行機Bより紙飛行機Aの方が多いため。	5	「12m以上」「13m以上」も正答とする。 内容に応じて部分点を認める。	

問題	正 答	配 点	採点上の注意
2	(例) 	6	12
	(証明) (例) 対角線 AC をひき、対角線 BD との交点を O とする。 平行四辺形の対角線は、それぞれの中点で交わるので、 OA = OC① OB = OD② 仮定から BE = DF③ ②, ③から OB - BE = OD - DF OE = OF④ ①, ④から、対角線がそれぞれの中点で交わるので、四角形 AECF は平行四辺形である。	6	
3	(1) 6と1と8, 6と2と7, 6と4と5	3	13
	(2) (説明) (例) Eに入る整数は4つの式にふくまれていて、5を入れて和が15になる整数の組み合わせの数も4通りで、式の数と同じだから。	6	
	(3) B, D, F, H	4	
4	(1) $y = \frac{3}{2}x - \frac{9}{4}$	4	10
	(2) $x = 3 + 2\sqrt{3}$	6	
配 点 合 計		100	